

# 令和4年度 社会福祉法人慈照会事業報告

通常規模型通所介護事業  
認知症対応型通所介護事業  
短期入所生活介護事業  
訪問介護事業  
居宅介護支援事業  
介護老人福祉施設事業  
ケアハウス事業

# 令和4年度社会福祉法人慈照会事業報告

## 1. 総括

わが国経済は、オミクロン株の影響が続く中、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的なエネルギー価格の高騰や米利上げによる急激な円安による物価上昇が、企業収益や家計の実質所得を圧迫し、景気の先行きは不透明な状況が続いた。

感染力の強いオミクロン株の第7波、第8波では、介護事業所、施設においてクラスター等が多発し大きな混乱が生じた。当法人では、特養にて発生した感染がクラスターとなり多くの感染者が発生した。非常に厳しい局面となり、特養職員を中心に大きな業務負担を強いることになったが、なんとか乗り切ることができた。

次世代の介護人材の確保では、4年目になるリクナビを活用し、2023 新卒オンライン及び現地職場説明会、2024 新卒インターンシップを実施した。人材育成では、新卒2名について、育成体制をモデル的に進めた。人材育成体系を整えることは、職員のモチベーション向上、新規採用における法人の魅力向上につながる。若手の職員の採用が進み、職員体制が充実してきている。実習生の受入れが再開し、受入れ施設として、次世代の人材育成に積極的に貢献したい。

職場環境の改善では、特養デイルームトイレの大規模改修により、入居者、職員にとって快適な環境を整備した。急速に進む介護ロボットや ICT 化による生産性向上は、働きやすい職場、人材確保のための必須の取り組みであり、全職員が意識をもって継続的に取り組む。

福利厚生では、商品単価の大幅な値上がりもあったが、引き続きオフィスおかん、パンフォーユー等を活用し、社食「+たすカルナキッチン 365」を提供している。4月より、給食の委託を日清医療食品からシダックスフードサービスへ移行し、食事の味の向上はあったが、課題も出て来ている。

公益的な取り組みでは、子羊2頭、親羊1頭を飼育し地域の憩いの場の提供はできた。サロン支援は感染拡大の影響により派遣中止もあり実績は少数となった。新型コロナ応援事業東近江地域事務局として取り組んだが、オミクロン株の感染力の強さから応援事業はほぼ機能しない状況となった。

新たにびわこリハビリテーション大学とフレイル予防の共同事業実施のため、何度か協議を行った。次年度の実施に向けて進んでいる。

年間の収支は、新型コロナのクラスターを含む感染が頻発した影響、エネルギーコスト・物価上昇の影響により、事業開始以来最も厳しい結果となったが、若手の優秀な人材の確保が進んでいることは、今後の事業展開にとって大きなプラスとなる。法人の将来ビジョンを示していきたい。

## 2. 事業別報告

### 【通常規模型通所介護事業】（定員：30名）

新型コロナ禍で介護予防を含む一日平均利用者数は23.7名（昨年比93.6%）と減少した。

**重点目標：** 職員の知識向上、環境づくりにより、質の高いサービスを提供する

新人教育を確立し、働きやすい職場づくりを目指す。事故苦情の再発防止の取組みとヒヤリハットを継続的に実施し、事故苦情を未然に防ぐ。

**結 果：**新人教育のためのステージングが作成できず、取り組めていない。ヒヤリハットの取組みは、下半期が不十分となった。

### 【認知症対応型通所介護】（定員：12名）

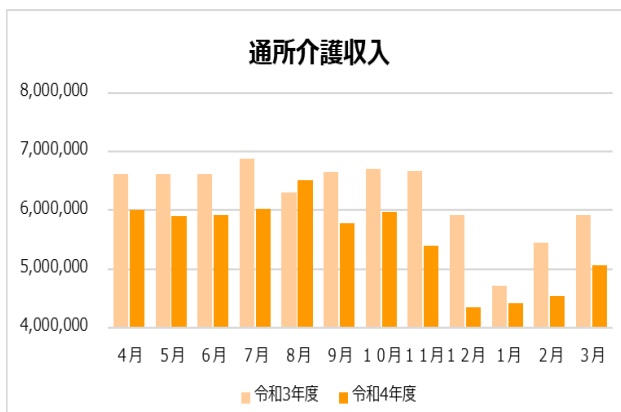
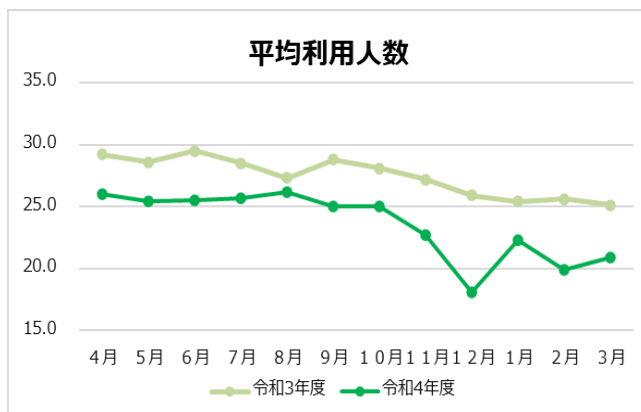
一日平均利用人数は0.9名（昨年比47.3%）と大きく減少した。過去の利用実績と現状、地域ニーズを検討し事業を廃止する。

**重点目標：** 認知症ケアの向上により利用者数増に結び付ける

職員の認知症ケアの知識を深める。ヒヤリハットの継続的な実施により、事故苦情を未然に防ぐ。

**結 果：**勉強会は実施できず、ヒヤリハットも継続できなかった。

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	通常規模	認知症対応	合計
4月	26	77	5	3.2	21.4	1.4	26.0
5月	26	72	0	3.3	21.0	1.1	25.4
6月	26	75	1	3.7	20.7	1.2	25.6
7月	26	75	3	3.3	21.3	1.0	25.6
8月	27	82	5	2.9	21.8	1.6	26.3
9月	26	77	2	2.5	21.7	0.7	24.9
10月	26	79	0	2.6	21.4	1.0	25.0
11月	26	75	1	2.2	19.8	0.7	22.7
12月	24	70	0	2.0	16.8	0.7	19.5
1月	23	71	1	2.5	18.9	0.9	22.3
2月	24	66	1	1.8	17.8	0.6	20.2
3月	27	70	2	1.9	19.0	0.0	20.9
	307	889	21	2.7	20.1	0.9	23.7



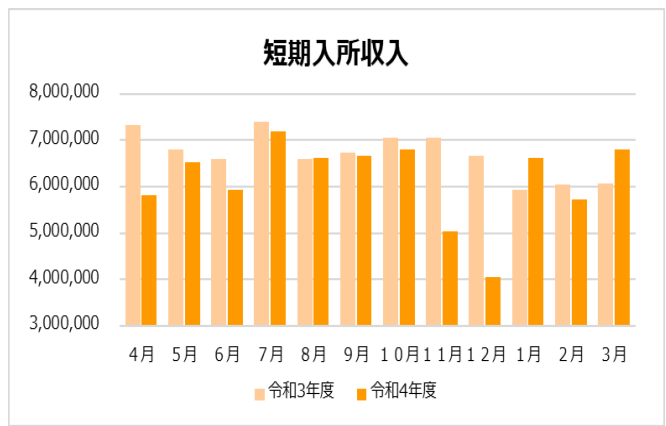
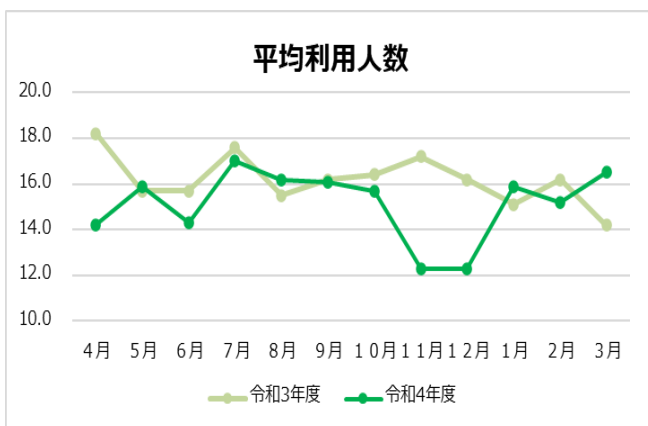
【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

新型コロナ感染者が事業所にて何度か発生し、特養のクラスターによる休止の影響も大きく、一日平均利用者数は、15.0名（昨年比92.5%）と減少した。

**重点目標：**重点目標：人財の育成・定着を目的とした“働き続けたい”と思える職場づくりを目指す  
介護ロボット・ICTによる介護負担の軽減・職場環境の整備、教育制度、研修の充実、職場内のコミュニケーションの円滑化を進める。

**結果：**負担軽減のための排泄機器のデモを実施したが、メンテナンスが必要であり実際に活用できるまでには至らなかった。委員会活動を通じて、職員同士のコミュニケーションの場が増え、事業への参加意識が向上した。新人職員に育成スケジュールを示すことで計画的に取り組めたが、振り返りが不十分であった。

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率 (%)
4月	3	54	14.2	88.8
5月	4	50	15.9	99.4
6月	3	54	14.3	89.4
7月	1	63	17	106.3
8月	8	58	16.2	101.3
9月	4	59	16.1	100.6
10月	5	59	15.7	98.1
11月	5	51	12.3	76.9
12月	2	38	10.6	66.3
1月	5	58	15.9	99.4
2月	6	56	15.2	95.0
3月	9	61	16.5	103.1
	55	661	15.0	93.7



## 【訪問介護事業】

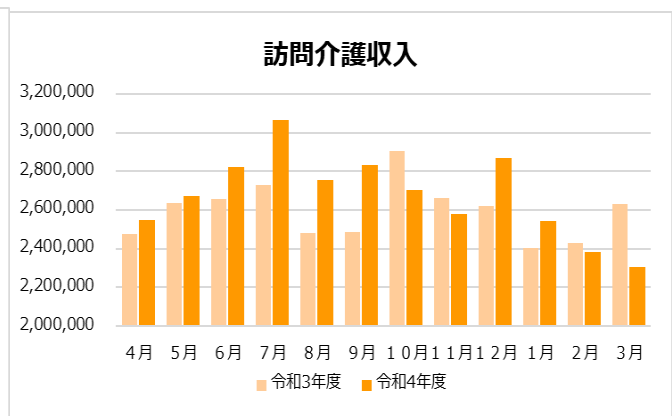
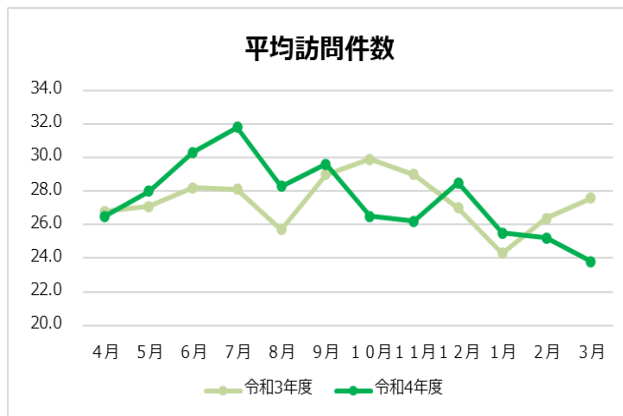
新型コロナ禍において、陽性者や濃厚接触者への訪問継続等厳しい状況に柔軟に対応し、一日平均訪問件数は、27・8件（昨年比101・4%）となった。

**重点目標：** ご利用者の人生の困難な時期に関わる意識を持ったサービスの提供の実施

常にきめ細かく対応し、その人らしい普通の生活を安心安全に過ごしてもらう。ご家族の介護力を理解し、ご本人の自立支援をしたい。在宅生活に幸せを感じてもらえるよう支援する。

**結 果：** 困難事例も多かったが、訪問依頼にはできるだけ断らずに誠実に対応した。例年より長期利用者の死亡または施設入所による解約が多い年となった。

月	介護予防		訪問介護事業		介護予防＋訪問介護		一日平均訪問件数
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	
4月	10	56	39	739	49	795	26.5
5月	10	57	51	810	61	867	28.0
6月	9	49	49	861	58	910	30.3
7月	10	56	51	929	61	985	31.8
8月	9	54	49	823	58	877	28.3
9月	9	52	56	836	65	888	29.6
10月	11	52	52	820	63	872	28.1
11月	9	46	48	787	57	833	27.8
12月	9	57	53	825	62	882	28.5
1月	9	52	52	740	61	792	25.5
2月	8	41	51	665	59	706	25.2
3月	7	44	48	695	55	739	23.8
	110	616	599	9,530	709	10,146	27.8



**【居宅介護支援事業】**

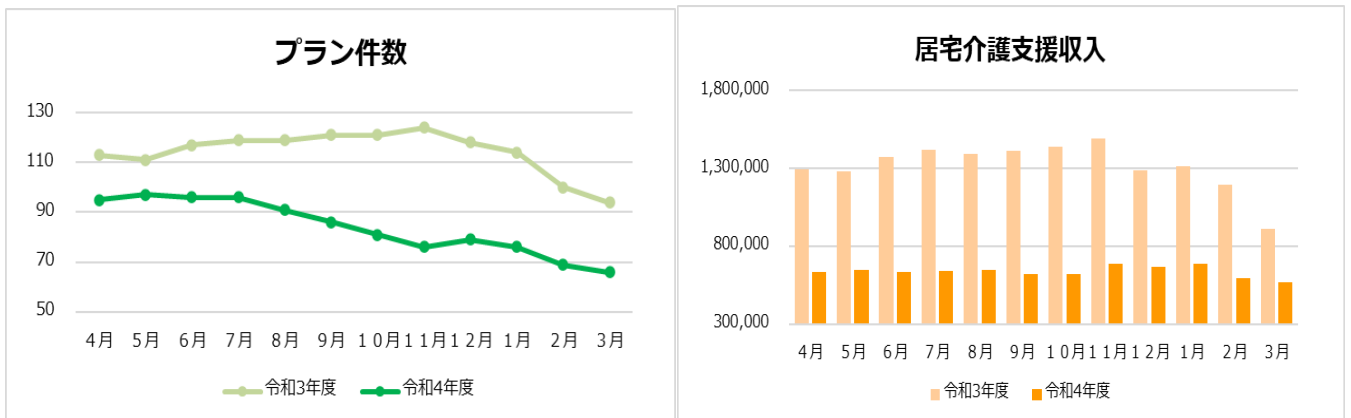
ケアマネの確保が進まず、年間を通じて1名の職員体制となり、平均プラン件数は83.7名（昨年比73.2%）となった。

**重点目標：** ケアマネジメントプロセスの基本に立ち戻り、手順通りの計画作成に努める

ケアマネジメントプロセスに則った業務を進めていき、マニュアルの確立、また後進の確保をしていく準備を進める。

**結 果：**多くの担当者のサービス継続のための対応で精一杯であった。その中でもサービス計画の確認、ファイルの確認を担当者すべてにおいて実施できた。後進の受入れのための書籍購入、勉強会等の準備を進めた。

月	新規利用	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	1	10	15	31	18	12	5	3	95
5月	2	1	10	15	31	18	13	5	4	97
6月	0	1	10	15	31	17	12	5	5	96
7月	1	1	11	13	28	18	13	7	5	96
8月	0	1	11	12	28	16	13	6	4	91
9月	0	1	9	11	27	13	14	7	4	86
10月	0	0	9	11	24	16	10	7	4	81
11月	0	1	7	9	25	17	10	6	4	79
12月	0	0	7	9	23	13	11	8	5	76
1月	0	1	7	7	23	11	11	7	5	72
2月	0	1	7	6	23	10	11	7	4	69
3月	1	1	7	6	23	10	8	6	5	66
合計	6	10	105	129	317	177	138	76	52	1004
月平均	0.5	0.8	8.8	10.8	26.4	14.8	11.5	6.3	4.3	83.7



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

クラスターの発生による影響が大きく、平均在居者数は、49.4名（昨年比97.8%）となった。

**重点目標：**看取り介護体制の整備と実施

専門職として知識の蓄積共有及び多職種間の連携を強化し、ケアの向上を図り、看取りニーズに応じていく。

**結果：**「看取りマニュアル」の作成に着手し、様々な文献やインターネットでの情報収集を基にカルナのハード、ソフト面を考慮したマニュアルを作成完了。内部研修資料も作成した。研修の実施要項を検討した後、今後嘱託医との看取り介護運用における協力体制の整備を進め、決定した規約については再度マニュアル及び研修資料へ反映させる。

令和5年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	1	2	1	0	0	2	1	2	0	1	3	13
退居	1	2	0	1	0	1	1	1	2	1	3	0	13
在籍者数	53	53	54	54	54	53	54	54	54	53	51	54	53.4
在居人数	51.6	49.6	50.7	51.9	51.3	49.6	50.8	52.8	43.3	45.3	47.0	49.0	49.4

入居者年齢状況

	男性	女性	全体
最高年齢	95	104	104
最低年齢	76	68	68
平均年齢	85.2	87.3	87.1

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	1	1	1.9
70～74歳	0	1	1	1.9
75～79歳	1	1	2	3.7
80～84歳	1	13	14	25.9
85～89歳	2	13	15	27.8
90～94歳	0	14	14	25.9
95～99歳	1	5	6	11.1
100歳～	0	1	1	1.9
計	5	49	54	100.0

### 入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	55.2ヵ月	53.3ヵ月	53.4ヵ月

在居期間	男性	女性	計	構成比 (%)
1年未満	1	9	10	18.5
1年以上2年未満	0	10	10	18.5
2年以上4年未満	2	10	12	22.2
4年以上6年未満	0	9	9	16.7
6年以上8年未満	1	3	4	7.4
8年以上10年未満	1	1	2	3.7
10年以上	0	7	7	13.0
合計	5	49	54	100.0

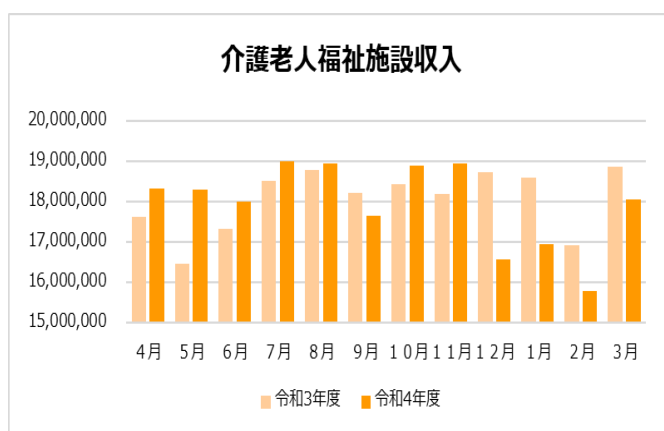
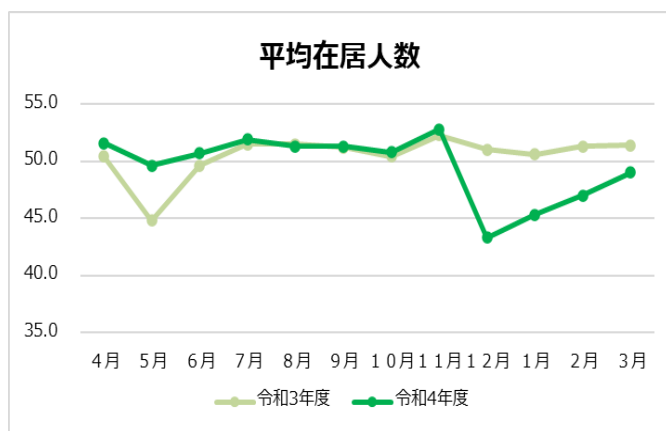
### 要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	1	4	13	20	16	54
構成比 (%)	1.9	7.4	24.1	37.0	29.6	100.0

平均要介護度 3.94

### 待機者数 ※介護保険認定有効期間内の方

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	1	4	34	43	14	96
構成比 (%)	1.0	4.2	35.4	44.8	14.6	100.0





【ケアハウス事業】（定員：15名）

新規入居者2名、退居者1名、待機者確保が進まず、厳しい年度となった。

重点目標：継続的な満床確保

広範囲に営業活動し、早期に満床とする。入居者のADL維持の活動とともに、ADL低下により生活が難しくなってきた方への支援方法を見直す。入居者個々のニーズを把握し実践する。

結果：営業範囲を拡大し、パンフレットや情報発信を行った。見学者、問い合わせはあったが、待機者、入居者確保に至らないケースが多かった。一部入居者において重度化してきており、介助を含む対応も増加しつつある。

令和5年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
退居	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入居者数	11	14	15	15	15	15	15	14	13	14	12	12	—

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65歳～69歳	0	0	0	0.0
70歳～74歳	0	0	0	0.0
75歳～79歳	2	0	2	16.7
80歳～84歳	0	1	1	8.3
85歳～89歳	0	1	1	8.3
90歳～94歳	2	4	6	50.0
95歳～99歳	1	1	2	16.7
100歳～	0	0	0	0.0
合計	5	7	12	100.0

最高年齢 男性 95歳 女性 95歳  
 最低年齢 男性 75歳 女性 82歳  
 平均年齢 男性 87.5歳 女性 89.7歳 全体 88.8歳

平均入居年数

男性	5年5ヵ月	女性	5年1ヵ月	全体	5年2ヵ月
----	-------	----	-------	----	-------

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護4	合計
人数	2	3	2	2	2	1	12
構成比 (%)	16.7	25.0	16.7	16.7	16.7	8.3	100.0

### 3. その他事業等

#### 【配食サービス】

営業日数310日、食数1,056（昨年比87.7%）、1日平均3.4食であった。

#### 【新型コロナ対策等】

入居者、職員の4回目、5回目のワクチン接種を実施した。在宅サービスと施設サービスの分離徹底、外部訪問者・家族面会の制限を実施、各種行事もほぼ中止した。8月にショートステイ利用者3名、特養2名の感染が発生し、クラスターには至らずに収束できたが、11月から特養にて発生した感染がクラスターとなり42名の感染者数となった。厳しい経験を今後の対策に活かしたい。

#### 【介護人材確保】

リクナビを活用し、2023 新卒オンライン職場説明会、2024 新卒インターンシップを実施した。新卒採用には至らなかったが、人材確保のノウハウが蓄積されきており、若手の中途採用に結び付いている。引き続き多くの職員に関わってもらいながら進めたい。

#### 【消防・防災】

新型コロナの厳しい感染時期が続き、夜間想定訓練を2回は実施したが、総合訓練を実施できなかった。防火設備の定期検査、防火設備点検を実施した。

#### 【衛生委員会】

新型コロナ禍において、産業医と施設の事情もあり開催できなかった。

#### 【人事考課制度】

6月に令和3年度下半期評価、総合評価を実施し、「S」「A」「B」「C」「D」評価に応じた賞与、昇給を実施した。12月にR4年度上半期の評価を実施し、評価に応じた賞与を支給した。

#### 【職員研修等】

各種団体等の会議・研修に延べ207名が参加した。多くがオンラインでの開催となった。施設内全体研修はコロナ禍にてDVD視聴のみの実施とし、各事業所単位の勉強会、研修会を実施した。

##### ※施設内全体研修会

実施日	テーマ	講師等	参加者数
7月18日～31日	新型コロナウイルス対策	DVD	57名
11月7日～19日	交通安全研修	DVD	58名

**【職員講師派遣及び事例発表等】**

研修会への講師派遣や研究大会等での発表は、職員のレベルアップに確実に結び付いており、対外的な法人評価を高めるものとなっている。今後も積極的に取り組みたい。

日付	内容	派遣人数
6月8日	玉川圏域ケアマネジメント支援会議「ケアプランの記入に仕方」	1名
7月3日	介護職員初任者研修(人権と尊厳を支える介護・自立に向けた支援)	1名
7月4日	「えにしアカデミー」ミニシンポジウムフェロー	1名
7月7日	介護支援専門員研修専門課程Ⅰ「家族への支援の視点」	1名
7月8日	湖北圏域居宅介護支援事業所合同会議「ケアプランの記入の仕方」	1名
8月28日	介護職員初任者研修(総合生活支援技術演習②③④)	1名
9月21日	就職説明会・模擬面接会講師 inびわこ学院大学	1名
10月5日	米原市居宅介護支援事業所研修会「プロセスシートを活用したケアマネジメントプロセス」	1名
10月8日	介護職員初任者研修(介護課程の基礎的理解・総合生活支援技術演習①)	1名
10月9日	介護職員初任者研修(整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護)	1名
11月12日	外国人介護職員初任者研修(介護保険)	1名
11月17日・30日	介護支援専門員研修専門課程Ⅱ「家族への支援」	1名
11月24日	主任介護支援専門員更新研修「家族支援」	1名
12月21日	滋賀県介護支援専門員研究大会	1名
12月14日	玉川圏域ケアマネジメント支援会議「ケアプラン4表・5表」	1名
1月11日・14日	介護支援専門員実務研修「ケアマネジメントのプロセス」	1名
1月20日	介護支援専門員実務研修ファシリテーター	1名
1月21日	介護支援専門員実務研修「居宅サービス計画等の作成」	1名
2月8日	滋賀県介護支援専門員講師指導者養成研修	1名
2月17日	介護支援専門員協会近畿ブロック大会(和歌山)研究発表	1名
2月22日	社会福祉学会研究発表	1名

**【新型コロナ発生時の応援事業等への参画】**

応援事業の東近江地域事務局を務め、4回の関係機関との東近江コロナ禍会議（保健所、二市二町担当課、東近江介護サービス協役員）を実施した。感染が急拡大し、施設、事業所のクラスターも頻発し、応援事業は機能しなかった。一方で、新たに設置された陽性者のための高齢者宿泊療養施設の介護コーディネーターとしての役割を担った。

**【実習生、ボランティア受け入れ】**

コロナ禍ではあったが、実習生の受け入れは貴重な機会であり積極的に受け入れをした。ボランティアは、建部日赤奉仕団、建部民生委員児童委員の2団体のみに止めた。

実習期間	学校・機関名	実習名	人数
6月6日～8月4日(22日)	綾羽高等学校	介護福祉士介護現場実習	1名
11月7日～18日(10日)	びわこ学院大学短期大学部	介護実習Ⅰ	1名
2月6日～3月9日(24日)	びわこ学院大学短期大学部	介護実習Ⅱ	2名

### 【地域の公益的な取り組み】

社会福祉法人として重要なテーマであり、年間を通じて積極的に取り組んだ。東近江市の障害、保育、高齢分野の重層的支援の土台となるネットワークづくりに積極的に参画した。

日付	内容	参加人数
4月19日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
5月17日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
4月26日～10月17日	羊の飼育とふれあい広場の提供	-
5月26日	第76回たてべ福祉を語る場	1名
6月21日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
7月19日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
7月22日	第77回たてべ福祉を語る場	1名
9月8日	介護フレイル予防プロジェクト打ち合わせ会議	2名
10月4日	第78回たてべ福祉を語る場	1名
10月11日	東近江市福祉法人ネットワーク会議コアメンバー会議	1名
10月31日	日吉サロン支援	2名
11月11日	介護フレイル予防プロジェクト打ち合わせ会議	3名
11月18日	竹鼻サロン支援	2名
12月20日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
1月17日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名
2月1日	第5回 東近江市福祉法人ネットワーク会議	2名
2月15日	第80回たてべ福祉を語る場	1名
2月21日	東近江市福祉法人ネットワーク会議・企画会議	1名

### 【各種団体活動等】

施設長が滋賀県老人福祉施設協議会副会長、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会役員、東近江介護サービス事業者協議会会長として、居宅介護支援事業所所長が、滋賀県介護支援専門員役員等として、積極的に活動し、県内、各地域の介護施設・事業所のサービスの質の向上に貢献した。

### 3. 年間行事等

4 月	1日入社式 20日第1回経営会議	10 月	17日羊の飼育終了 18日第2回夜間想定図上訓練 19日第7回経営会議
5 月	19日防火設備の定期検査 19日第2回経営会議	11 月	入居者・職員インフルエンザ予防接種 4日消防設備点検 16日第8回経営会議
6 月	7日R3年度下半期・総合評価者会議 10日監事監査 10日第1回理事会 15日第3回経営会議 28日第1回評議員会	12 月	16日R4年度上半期評価者会議 21日第9回経営会議
7 月	20日第4回経営会議 23日建部日赤奉仕作業 23日建部民生委員児童委員葉狩作業	1 月	1日年賀式 18日第10回経営会議 30日第2回理事会
8 月	1日夜勤者健康診断 17日第5回経営会議	2 月	16日第11回経営会議 24日社会福祉法人監査
9 月	9日入居者健康診断 21日第6回経営会議 28日第1回夜間想定図上訓練	3 月	14日職員定期健康診断 22日第12回経営会議 27日第3回理事会